



まちあるき



事前学習

や えがしけいたろう
■八重樫圭太郎くん (街)
 「知らない道や歴史、場所を発見できました。特に武家屋敷が印象に残っています。午後のクロスロードゲームでは他人を助けるか自分を助けるかを考え、面白かったです」

すずき かお
■鈴木香桜さん (三ヶ尻)
 「普段利用している駅などをみんなで考えるのが楽しかったです。防災マップを見て、釣りに行く人はここを気を付けた方が良さなど一人一人考えました」

ともえ せ な
■巴瀬那くん (南方)
 「まちあるきの前は、自分の住むまちだけど分かっていないことがありました。まちあるきをしてみて、身近なことが知れて良かったです。桂三二博物館が印象に残っています」

あいさわゆうき
■相澤優輝くん (西部)
 「地元と言っても、あまり知らないところもありましたが、今回、農家の皆さんの話を聞いて、改めて地域の良さを知ることが出来ました」

たかはしりょうかく
■高橋 瞭 閣くん (永岡)
 「永岡村のときの役場庁舎が、公民館として使われていることに驚きました。小学校の近くにカフェについても、詳しく知れて良かったです」

せきね こゆき
■関根公雪くん (北部)
 「金ヶ崎町のことを知っているつもりでしたが、もっと知ることが出来ました。おかず屋さんは前から知っていましたが、立ち寄れて良かったです」



まとめ 未来の姿



防災教育 クロスロードゲーム

金ヶ崎中学校3年生の生徒によるまちあるき学習が、7月7日に行われました。平成30年に始まったまちあるき学習は、今年で3回目となりました。自分たちの地元を歩くことで、地域の歴史と今を知り、自分たちの地域と未来について考えました。

まちあるき学習に先立ち、6月30日には事前学習会が行われ、人口減少を中心とした町や地域の今の姿を学習しました。

7月7日のまちあるきでは、出身地区ごとに班に分かれて活動をしました。

午前は、案内人と一緒に地元を歩き、気になる写真を撮ったり、地元の人にインタビューを行うことで、地域の情報を集めました。

午後には、地域の年から防災の話聞き、防災クロスロードゲームを通じて災害時の行動について考えました。その後、集めた情報をもとに地域の現状を地図に整理しました。

8日には、7日に整理した内容から、自分たちの地域の課題や「未来の姿」をまとめ、個人としての将来の役割を考えました。